

もっと、知りたい。TOKIWAのコト。

学校法人常磐大学 広報誌
TOKIWA POST [トポス]

TOPS

vol.
102

September.2026

特集

常磐大学の世界とつながる教育プログラム
常磐大学高等学校 国際教育

▶ News & Topics 大学・短期大学、高校、智学館、こども園のニュースを紹介

▶ Toki no Sho / トキノショ 大学・短期大学の教員が執筆した著書を紹介

▶ Toki no Wa / トキノワ Club Activities 大学「アカベラサークル ときべら」「サッカー部」、高校「バドミントン部」を紹介

グローバル教育プログラム

人口減少時代の日本において、グローバル化への取り組みは地域発展の重要なカギとなります。そこで必要とされるのは、海外文化への理解、海外生活の経験などグローバルな視野を持つとともに、地域の（ローカル）文化や特性を尊重しつつ調和を図ることのできる「グローバル」な力を持つ人材です。

本プログラムの目的は、人口減少時代の地域を支える越境的（クロスボーダー）な発想力と関係構築力を養うことです。それに必要な基礎知識と、グローバル人材となる意義への気付きを得るため、学部学科横断的な人材育成プロジェクトとして始動しました。

必修科目「グローバル化における地域社会」の修得と、海外研修や外国留学といった海外学修を軸に、地域での課題解決を体験する「プロジェクト科目」、留学生と一緒に学ぶ共修科目「地域文化研究」など、本学の擁する魅力的な授業をパッケージにしたプログラムです。さらに、外国語科目、各学部・学科で開講される地域理解や異文化理解に関する多種多様な授業を組み合わせることで、自らの関心や自身の目指す未来像を探究していきましょう。



総合政策学部法律行政学科
教授 きのした けいじ 木下 恵二

異文化への理解を通して、

日本のこれからを支える力を育むために

これまでのグローバル化は海外へ活躍の舞台を広げるというイメージでしたが、これからは、自らが生活する「地域」においてグローバルな視点をどう活かすかが焦点となります。プログラムの必須要素である海外学修では、異文化に直に触れることで日本の「当たり前」が必ずしも世界共通ではないことを知り、自らの思想や行動にこれまでとは違う選択肢があることに気付くことを目的としています。一般企業でも公的機関でも、これからの時代は外国人との関わりなしには成立しないからこそ、臆せず接し、協働できる力を身につけていきましょう。

Student Voices

生きた体験や交流を通して海外の文化を学び、

将来の活躍につなげたい

英語はあまり得意ではありませんが、旅行が好きで海外への興味を持っています。グローバル化について知識をつけたうえで海外研修へ行くことができればより得るものが多いと感じ、このプログラムに参加しました。必修科目の「グローバル化における地域社会」では、ゲストスピーカーの話を聴く機会も多く、外国人材を活用している企業経営者の講話はとても興味深いものでした。私は経営学科ですが社会学にも興味があり、2年次では世界全体に視点をおいた社会学を履修して学びを深めたいと考えています。



総合政策学部経営学科
いずみた ゆうら
1年 泉田 優空

多文化共生の時代へ向けて、

お互いに安心できる社会づくりの力になりたい

私の地元であるつくば市は地域で暮らす外国人が多く、グローバル化が進んでいることを肌で感じています。公務員を志望しているため、このプログラムで学んだことを、日本人と外国人がお互いに尊重し合い安心して暮らせる社会づくりに役立てていきたいと考えています。講義では、実際に外国人政策に携わっている県庁職員の方の話を聴く機会もあり、将来の働き方をよりリアルにイメージすることができました。来年履修予定の海外研修では、現地の人とたくさんコミュニケーションを図り、新しい視点を得たいと思います。



人間科学部現代社会学科
こやま みう
1年 小山 未羽

常磐
世界
教育

登録日本語教員養成課程

「登録日本語教員」は、日本語を母語としない人に対して日本語を教えることのできる国家資格で、2024年度より始まった新しい制度です。

本学では、全国的な日本語教師の需要の高まりを受けて2021年度に日本語教師養成課程を開設しました。そして、登録日本語教員の国家資格ができたことを受けて2026年度に本課程をスタートしました。本課程を修了し、日本語教員試験の応用試験に合格することで、文部科学省によって登録日本語教員として認定登録されます。

本課程の目的は、資格取得だけでなく、子どもから大人まであ

らゆるライフステージの日本語学習者を支援できる専門家を育成することです。専門的な指導理論に加え、教育現場でのニーズが急増している「子どもの日本語教育」を体系的に学ぶことで、単なる語学支援にとどまらず、多文化共生社会の最前線で活躍する力を養います。

外国にルーツを持つ人が増加する現代社会において、日本語教育は地域と世界をつなぐ重要な役割を担います。多文化共生が進む社会に求められ、活躍する、「日本語」で地域と世界をつなぐプロフェッショナルを目指してみませんか。



人間科学部コミュニケーション学科
教授 いのの れいこ 飯野 令子

これからの時代に求められる人材を育成し、

活躍のフィールドをつくる

本課程の大きな特徴は、小中高の教職課程と登録日本語教員養成課程を同時に受講でき、両方の資格取得ができることです。その一方で、教職を目指すかどうかにかかわらず、外国人への日本語教育を実践的に学ぶことはすべての学生にとって意義があります。外国人とコミュニケーションをとる力を得ることは自治体や一般企業で働くうえでも大きなメリットがあるからです。資格取得だけを目的とするのではなく、本課程での学びを通して多文化共生社会を牽引する力を養ってほしいと願っています。同時に、修了生が実社会で活躍できる場づくりにも注力していきます。

日本語を教える技術だけでなく、

共生社会を支える力を育むために

日本語教育には「言語を教える知識と技術」が求められますが、本課程では外国にルーツを持つ子どもたちを多面的にサポートできる力を育むことも目的にしています。水戸市内の小中学校における教壇実習などを通して、学校教育全体を見渡しながら子どもの発達や学級経営、保護者や地域との連携などについて学ぶことは、日本語指導が必要な児童生徒への支援の在り方を考えることにもつながります。こうした力は外国にルーツを持つ子どもが増えるこれからの教育現場はもちろん、多文化共生社会においても大きな力となるはずです。



人間科学部教育学科
准教授 いしざき とものり 石崎 友規

大学の
と
つながる
プログラム

Student Voices



人間科学部コミュニケーション学科
4年 せきざわ なつみ 関澤 奈津美

本課程での学びを活かし、

生徒の心に寄り添うことのできる英語教員を目指す

高校生のとき、外国人による日本語スピーチコンテストの高校生審査員を務めた経験があり、茨城で暮らす外国にルーツを持つ方々が言語だけでなくアイデンティティの壁を感じていることを知りました。この経験から、日本語支援や教育を通じて彼らの抱える課題解決に貢献したいと感じ、英語教員を目指すとともに、本課程を履修しました。小学校での日本語支援ボランティアに参加したり、本学の留学生や日本語学習者への模擬授業を行ったり、座学での学びを実践の場で活かせる環境があることはこのカリキュラムの大きな魅力だと感じています。

常磐大学高等学校 国際教育

From TOKIWA to the World

カナダ語学研修

ハリー・エインリー高校10日間語学研修

カナダ・アルバータ州エドモントンにある提携校のハリー・エインリー高校で、10日間の語学研修を行っています。現地の家庭にホームステイしながら、現地の高校生とのグループワークやフィールドワークに取り組み、カナダの文化や自然を体感します。英語で伝える力を高めるだけでなく、現地での生活を通して、自ら考え行動する力も養います。

多文化共生が進むカナダでは、ホストファミリーや現地の高校生の背景も様々です。異なる価値観や生活に触れ、失敗を恐れず挑戦する経験は、大きな自信につながります。そして、多様な人々をつなぐ英語の大切さに気づき、自分の世界を広げることができます。この研修は、実践的な語学力を身につけるとともに、国際理解を深め、新たな一歩を踏み出す貴重な機会です。また、現地での出会いや体験を通して、自分とは異なる考え方を受け入れる姿勢も育まれます。生徒一人ひとりが進路や将来の生き方を考えるうえでも、大きな学びとなるはずです。



アジア異文化研修

カンボジア異文化理解研修

カンボジア・シェムリアップを訪れる異文化理解研修では、世界遺産アンコール・ワットの修復に関わる上智大学の研究センターを訪れ、歴史や文化財の保護について学びます。また、トンレサップ湖で増えるウォーターヒヤシンスを活用した工房を運営する日本人女性を訪問し、農村部で働く機会の少ない女性たちに、自宅でもできる仕事を生み出す取り組みについても学びます。こうした活動を通して、現地の文化や産業にふれるだけでなく、カンボジアが抱える社会課題への理解も深めます。研修後は、「水戸まちなかフェスティバル」でカンボジアに関する物品販売やワークショップを行い、学んだことを地域に発信しています。

一度きりの旅行で終わらず、自分にできることを考え続ける実践的な学びが、この研修の大きな魅力です。なお、2026年度は研修先をブルネイに変更する予定です。



留学制度

留学先や期間など、それぞれの希望に合わせたプランで留学することができます。また、休学せずに留学できるので、1年間留学しても3年間で卒業することが可能です。留学を通して語学力が伸びるのはもちろん、精神的にも強くなり人間的にも大きく成長します。

留学プラン

国:アメリカ／カナダ／
ニュージーランド

期間: 3カ月／1年

留学サポート

留学への疑問や不安に対応するカウンセリングや、海外留学・海外研修奨学金制度による経済的なサポートを行っています。近年増加している海外進学についても、進路実現に向けた支援をしています。常磐大学国際交流語学学習センターの協力のもと、各種検定合格への指導も行っています。

新しい取り組み(2027年度開始)

グローバルコンピテンスプログラム(GCP:Global Competence Program)とは、将来、子どもたちが生き生きと活躍するために必要な「資質・能力」の醸成を目指し、OECD(経済協力開発機構)の世界基準に基づいて開発されたプログラムです。将来への不確実性が増し、グローバル社会が急速に変化する中で、子どもたちには、答えのない課題に向き合い、問題を解決できる柔軟な力や、多様な文化・価値観を持つ人々と協働していく力が必要です。外国人講師による生徒主体のアクティビティを通して、コンピテンスの育成を目指します。

From the World to TOKIWA

留学生受け入れ

アメリカ、カナダ、オーストラリア、ドイツ、スウェーデン、イタリア、フランス、タイなど、世界各国から留学生を受け入れています。留学生たちは、本校生徒と一緒に授業を受けたり学校行事に参加したりして、日本の高校生活を体験しています。2026年度はさらに、デンマーク、スイス、そしてブラジルと、より多くの国々から留学生が来日しTOKIWAで国際交流の輪を広げています。

留学生たちは、母国の料理を本校生徒と一緒に作って食べたり、日本ではあまり知られていない自国のスポーツと一緒にプレーしたりするなど、自国文化の紹介をしながら、本校生徒との友情も深めています。

今後も受け入れを拡大し、校内に海外留学生がいるのが当たり前の学校を目指していきます。



Multicultural English Connections (MEC)

常磐大学へ留学している学生と交流をするプログラムです。回ごとにテーマが設定されグループで交流をします。ハロウィンやクリスマスのイベントもあり、楽しく国際交流しながら、英語に限らず様々な国の言語や文化を学ぶことができます。また、日本の伝統的な遊びや巻き寿司作りと一緒に体験することで、日本の文化を留学生に伝える機会にもなっています。



オンライン英会話プログラム

2年生の授業「英語コミュニケーションⅡ」で、週に1回オンライン英会話を実施しています。画面を通してではありますが、ネイティブの先生と様々なトピックについて会話をすることで、英語で話すことに慣れ親しみ、英会話を楽しんでいます。

また、希望者はハリー・エインリー高校(カナダ)の日本語クラス「TOMODACHIKAI」の生徒や、バゴ市立大学(フィリピン)の学生とオンラインで交流することができます。どのプログラムも親しみやすく、丁寧に対応してくれるため、大変参加しやすくなっています。



常磐大学高等学校 校長

ふか や すし
深谷 靖

新校長 Message

国際社会がかつてない速度で変化する今、世界を知り、自ら考え、未来を切り拓く力を育むことは、高校教育の重要な使命です。これからの時代に求められるのは、語学力だけではなく、多様な文化や価値観を理解し、世界の人々と協働しながら新たな価値を創造できる力です。

本校では、多彩な国際教育を通して「ときわ力」を高め、世界とつながり、世界とともに学び、世界へ羽ばたく人材を育成する多様なプログラムにより、生徒は日常の学校生活の中で異文化への理解を深めています。

さらに2027年度からは、国際教育の新たな柱として、OECDの世界基準に基づくグローバルコンピテンスプログラム(GCP)を導入します。生徒主体のアクティビティを通して、世界の人々と協働して新たな価値を創造する力を育成します。

常磐大学高等学校では、生徒一人ひとりが世界への一歩を踏み出す挑戦を、充実した支援制度とともに力強く後押しし、未来を切り拓く教育を実践してまいります。

大学

「第9回 常磐大学ビジネスアイデアコンテスト」の発表会を開催

12月17日(水)に、「第9回 常磐大学ビジネスアイデアコンテスト」の発表会を開催しました。

本コンテストは、公益財団法人いばらき中小企業グローバル推進機構のご協力のもと、常磐大学総合政策学部経営学科が開催するものです。3年生の必修科目「ビジネス専門演習」の経営・マネジメント分野専攻クラス(担当:及川怜准教授)を履修する学生がチームを組み、その年度のテーマ課題に対して、4月から約9カ月間にわたり調査・分析を進めてビジネスアイデアを練り上げ、12月の最終発表会にてそれを発表します。

今回は、有限会社黒澤醤油(ひたちなか市・明治38年創業)にご協力いただき、「魅力のある黒澤醤油になる為に!」(ブランディング戦略、商品イメージ戦略、企業文化・スタッフイメージ戦略)」をテーマに、各チームがプレゼンテーションを行いました。

＜学生からの提案内容＞

Aチーム 「新商品『麴由来の美容液』のご提案」 【優勝】

Bチーム 「朝の和食体験から始まるブランド戦略」

Cチーム 「焼きたてせんべいの販売・体験」 【準優勝】

Dチーム 「醤油を活かした和風ドレッシング」

審査員からは貴重なアドバイスを頂戴し、学生たちにとって大きな学びの場となりました。



大学・短大

関彰商事株式会社と持続可能な社会の実現に向けた包括連携協定を締結

3月11日(水)、常磐大学・常磐短期大学は、関彰商事株式会社と「持続可能な社会の実現に向けた包括連携協力に関する協定」を締結しました。

関彰商事株式会社の代表取締役会長である関正夫様には、常磐大学が開学した1983年から2011年まで、本法人の理事として多大なるご貢献をいただくなど、本学と関彰商事は長年にわたり深い協力関係を築いてきました。

その後も、地域社会の発展という共通の視点に立ち、対話と交流を重ね、関彰商事の事業内容と本学の学術分野との親和性の高さから、このたび、包括的かつ継続的な連携体制を築く運びとなりました。

本協定の締結により、SDGsの推進という現代社会の重要課題

を踏まえ、相互の知的・人的・物的資源を活用しながら、多岐にわたる分野において、持続可能な社会の実現に向けた連携を強化していきます。

＜連携事項＞

- ・キャリア形成の推進に関する取り組み
- ・持続可能な社会を実現するための取り組み
- ・ダイバーシティ&インクルージョンを実現するための取り組み
- ・人材育成や学術・研究の振興に関する取り組み



大学

常磐大学×日本赤十字社「炊き出し体験ワークショップ」を実施

1月16日(金)、水戸市福祉ボランティア会館において、「災害時要配慮者向け炊き出し体験ワークショップ」を開催しました。

本イベントは、日本赤十字社茨城県支部が主催し、常磐大学人間科学部健康栄養学科基礎栄養学研究室が協力して実施したものです。1月17日の「防災とボランティアの日」に合わせて、避難生活が長期化する中で懸念される要配慮者(高齢者、乳幼児、慢性疾患患者など)の栄養不足や健康悪化を防ぐことを目的として企画されました。

当日は、学生8人が専門的な知識を活かして「脂質異常症」や「咀嚼機能の低下」といった課題を抱える方でも安心して食べられる「災害時要配慮者向けレシピ」4品を開発し、調理デモンストラーションと試食を行いました。

レシピ名	特徴・工夫のポイント
豆乳ショートパスタ	脂質異常症に対応し、コーンスターチでとろみをつけることで食べやすさを向上
カレー混ぜご飯	ひじき等を使用し、高血圧に配慮して食塩相当量を抑えつつ満足度を確保
和風ぼてとま煮	咀嚼に問題がある高齢者や乳幼児も食べられるよう、食材の柔らかさを調整
あずき豆乳プリン	保存性の高い豆乳を使用し、不足がちなタンパク質と食物繊維を補給

今回のプロジェクトを通じて、学生たちは「専門性を活かした社会貢献」を実践することができました。今後も、地域社会の防災力向上に向けた連携活動を積極的に継続していきます。



学び、体験し、日々成長している学生・生徒・園児たち。
そんな彼らの活躍の場は、校内にとどまらずさらなる広がりを見せています。
ここでは各学校の主な活動や取り組み、実績などをご紹介します。

大学

常磐大学「防犯サークル」の発足式を開催

4月24日(金)、茨城県警察本部において、常磐大学「防犯サークル」の発足式が行われました。当日は、発足を記念して、公益財団法人茨城県防犯協会よりユニフォームが贈呈されました。

常磐大学と茨城県警察は、2013年10月に「少年の非行防止に関する連携協定」を締結し、共同で「非行少年等に対する立ち直り支援」や「学習支援活動」などの取り組みを推進してきました。

しかし近年では、匿名・流動型犯罪グループによる強盗事件やインターネット環境を悪用したサイバー事案が頻発するなど、社会情勢の変化に伴い、新たな治安課題への対応が求められるようになりました。

こうした背景を踏まえ、2025年5月には、従来の少年の非行防止に関する取り組みに加え、「県民の安全と安心を確保し、一人ひとりが多様な幸せを実現できる社会の実現」を目的として、双方の連携協定の

枠組みが拡大されました。

これを契機として、本学学生による「防犯サークル」が発足しました。学生たちは、地域の安全や防犯に対する強い思いを持ち、茨城県警察が主催する防犯キャンペーンやパトロール活動に積極的に参加しています。

今後も、学生たちの活動がさらに活発に展開されることが期待されます。



高校

修学旅行・校外学習

12月7日(日)～10日(水)、2年生の沖縄修学旅行を実施しました。期間中は戦争に関する歴史、伝統文化、自然など、沖縄ならではの探究活動を通して多くのことを学びました。クラスメートとの友情も深まり、思い出に残る修学旅行になりました。

12月11日(木)には、1年生が校外学習で劇団四季によるミュージカル「BACK TO THE FUTURE」を観劇しました。普段なかなか見ることのできないミュージカルに生徒は感動、興奮していました。終了後、立ち上がり拍手をしている生徒もいました。とても良い経験ができました。



高校

ユネスコスクール全国大会に参加

12月6日(土)、上智大学四谷キャンパスで行われたユネスコスクール全国大会において、カンボジアと日本をつなぐ架け橋となるべく活動している本校生徒7人が、ポスター発表を行いました。ユネスコスクールに認定されている本校では、他にも水戸市・笠間市との連携、海外留学制度など、生徒が社会貢献に携わることのできる学習プログラムを展開しています。



高校

卒業式

3月1日(日)、常磐大学・常磐短期大学体育館にて2025年度卒業式が執り行われ、382人の卒業生が本校を巣立っていきました。校長より卒業証書が手渡され、3年間の努力と成長が感じられる卒業生の堂々とした姿が印象的でした。続いて、校長よりこれから社会へ羽ばたく卒業生へ向けた激励の言葉が贈られました。また、在校生代表による送辞、卒業生代表による答辞では、学校生活への感謝や仲間への思いが語られ、厳かな雰囲気の中、温かな空気に包まれた卒業式でした。



高校

入学式

4月7日(火)、水戸市民会館グロービスホールにて2026年度入学式が執り行われ、13クラス465人の新入生が本校に入学しました。

厳肅な雰囲気の中、緊張した面持ちながらも担任による呼名に元気に返事をしている新入生の姿が印象的でした。校長式辞の内容にもあった、本校の目指す生徒像でもある「考え 挑み続ける」を実践し、大きく成長することを願っています。



智学館

スキー教室を実施

1月29日(木)・30日(金)に、4・5年次生が福島県で1泊2日のスキー教室に参加しました。見渡す限りの白銀の世界は、日頃の勉強の疲れを忘れさせ、生徒たちの心を芯からリフレッシュさせてくれたようです。スキーの経験は人それぞれでしたが、どの生徒も今の自分にできる精一杯の滑りに挑戦していました。また、絆をさらに深めたのが、コテージで過ごした夜のひとときです。仲間と肩を寄せ合って過ごした時間は、何物にも代えがたい青春の1ページとなりました。



智学館

磯山純さんによるコンサートを開催

4月18日(土)、本校シアター教室にて、水戸市在住のシンガーソングライター・磯山純さんによるコンサートを開催しました。磯山さんは生徒会役員と交流した後、生徒たちの智学館への思いをもとに制作した曲「けやきの記」を披露してくださいました。その優しく心に響くメロディーと歌詞に、会場にいた誰もが心を揺さぶられ、涙を流していました。学校の新たな財産として、これからもずっと大切にしていきたいと思います。今回のコンサートを企画・運営し、素晴らしい贈り物を届けてくださった関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。



智学館

「梅染め」の成果を発表

5月2日(土)、5年次生が探究学習「梅染め」の成果発表として、「水戸まちなかフェスティバル2026」に出展しました。当日は強風に見舞われたものの天候に恵まれ、多くの地域住民の方々にご来場いただきました。生徒が主体となって運営した「梅染め和紙のうちわ作り」の体験ワークショップは、用意した材料がすべて完売。3年目となる今年も成果を地域に還元でき、生徒たちの大きな自信へとつながりました。次回の出展に向け、今後も活動を深化させていきます。



こども園

「2025年度常磐大学こども園発表会」を開催

12月6日(土)、2025年度常磐大学こども園発表会を開催しました。幼稚園からこども園になって初めての発表会。保育部の子どもたちは日頃の練習通り、先生のピアノや歌に合わせて身振り手振りを交え、元気に披露することができました。幼稚部の子供たちはそれぞれのテーマに沿って、一生懸命表現しました。子どもたちの笑顔がキラキラ輝く1日となりました。

<幼稚部 発表テーマ>

年少も組「もぐりマークのゆうえんち」
年中ぼくら組「てぶくろ」
年中もみじ組「もみじ10かいだてのいえ」
年長さくら組「おしゃべりなたまごやき」
年長しらかば組「金のガチョウ」



こども園

カナダ ランガラ・カレッジとの交流会を実施

5月22日(金)、こども園遊戯室で、国際交流語学学習センターのサポートのもと、常磐大学の協定校であるランガラ・カレッジ日本研修参加者と年長組の子どもたちとの交流会が行われました。子どもたちは、ドキドキしながらも交流を楽しみにしていました。クイズやダンス、英語での読み聞かせなどの交流を通じて、すっかり仲良しになり、楽しい交流会となりました。

最後に、子どもたちから折り紙のプレゼントを手渡すと、ランガラ・カレッジの学生たちは、子どもたちを抱きしめながらうれしさを伝えてくれました。今回の国際交流が子どもたちにとって、カナダという国を知るきっかけとなり、貴重な体験となりました。



こども園

2026年度大学連携事業「わくわくチャレンジ」がスタート

5月26日(火)、本園の特色ある教育活動のひとつである大学・短期大学連携事業「わくわくチャレンジ」がスタートしました。わくわくチャレンジは、「うんどう」「おながく」「つくる」「ひょうげん」「かがく」の5つがあり、それぞれ大学・短期大学の先生やゼミ生の協力を得て開催されています。この日は、年中組の子どもたちは、常磐短期大学の森慎太郎准教授と「うんどう」、そして、年長組の子どもたちは、角田葵助教と「おながく」にチャレンジしました。それぞれ、体全体を使い、運動やリズム遊びに夢中になってとても楽しく活動できました。



Toki no Sho

トキノショ

大学・短期大学の教員が執筆した様々な分野の著書をご紹介します。

カラープリント
パネルシアター
しましまおさんぽ

人間科学部 教育学科
准教授 鈴木 範之

鈴木 範之(構成)
パオパオ(絵)
2026年3月 大東出版社



オリジナルの歌に合わせておさんぽを始めると、しましまの背景から動物のシルエットが浮かび上がります。子どもたちの歓声が広がる、楽しいパネルシアター作品です。

図録 日本国憲法
〈第3版〉

総合政策学部
法律行政学科
准教授 橋爪 英輔

斎藤 一久・
堀口 悟郎(編)
2026年1月 弘文堂



膨大な写真・図解で教科書の「行間」に広がる豊かな憲法の世界を実感できる新しいタイプの憲法教材の第3版。「裁判所」、「司法権と憲法訴訟」の章の執筆を担当しました。

Toki no Wa

トキノワ

Club Activities

活躍中の部活動をピックアップ！

今回は常磐大学のアカペラサークル、サッカー部と常磐大学高等学校のバドミントン部です。

常磐大学

アカペラサークル
「ときぺら」

アカペラを通して生まれた
たくさんの縁。「楽しい」の輪が
広がることがいちばんの喜び。

私たちの練習場所は基本的に屋外で、人目を気にせず爆音で歌うことを心から楽しむメンバーが集まっています。結成のきっかけは角田先生の存在が大きく、幼児教育保育学科の講義でもお世話になっている先生がアカペラの大会で優勝した経験を持っていることを知り、先生に顧問を頼むと同時に友人2人を誘って結成しました。私自身は歌より聴くほうが好きで、歌に自信があったわけではないのですが、初めてアカペラのハーモニーを合わせたときの興奮と感動は忘れることができません。先生をはじめ男子4人で始めた活動も、少しずつ仲間が増え、他大学や地域のアマチュア団体との交流も生まれています。歌や音楽が好きの人や大声で歌ってみたい人、ぜひ一緒にハモリましょう！

部長
おかもと こうすけ
岡本 航祐(2年)



大声で歌うって気持ちいい。
みんなと一緒にハモるって、
最高に気持ちいい！

昨年9月に発足したばかり、結成1年のフレッシュなサークル。「歌が好き」という気持ちで集まったメンバーたちが、学内の広場などで爆音のハモリを響かせて練習する光景は昼休みの名物になりつつあります。コンクールには出場せず、地域のイベントを中心に1~2カ月に1度のペースで公演。流行の曲や子ども向けのアニソンなどイベントに合わせた演目を披露し、歌声“だけ”で聴く人の心に感動を届けています。



顧問 角田 葵
常磐短期大学
幼児教育保育学科 助教

歌う楽しさ、歌声が重なる喜びと感動を

アカペラは、合唱のように声質をきれいに揃えるというよりは、一人ひとりが持つ声の力強さが重なることによって生き生きと輝く音楽です。私はアカペラの専門家として書籍の監修なども手がけていますが、ときぺらのメンバーには小難しい技術指導よりも「もっと声出してこー！」「というシンプルな声掛けを大切にしています。というのも、大きな声で楽しく歌うことがアカペラのいちばんの醍醐味だと思うからです。さらに、お互いの声を聴き合いながらハモることは、思いやりや協調性を大切にすることであり、人としての成長にもつながるはずです。歌唱力がある、低音が得意など、それぞれの強みが重なり合ってアンサンブルが生まれる瞬間は最高ですよ。

アカペラスタイル
vol.4

幼児教育保育学科
助教
角田 葵

baratti (Nagie Lane)・
かくたあおい

2026年2月
Rittor Music Mook

アカペラ専門誌の第4弾。ハモネプ25周年を総力特集し、テレビ制作サイドのインタビューや番組で歌われた楽譜も多数収録。こっちのけんとう漫画「ヴォカライズ」対談も。



アカペラサークル「ときぺら」 DATA

メンバー数：10人
活動日：火・金曜 12:20~12:50、その他随時

2025年度 活動報告

○Voice of X'mas出演
会場：ファッションクルーズ ニューポートひたちなか
演目：back number「クリスマスソング」等

2026年度 活動報告

○アカペラフェスティバル in水戸出演
会場：水戸芸術館
演目：Aimer「カタオモイ」等

○その他、オープンキャンパス、
ときわ祭等のステージにも出演

常磐大学

サッカー部

**常磐大スポーツの先頭に立ち、看板的存在となるために。
強いサッカー、勝つサッカーで魅力的なチームづくりを。**

2013年度より強化部に指定され、地元のJ1クラブ水戸ホーリーホックとの連携協定を結びました。2023年より、城西大学や山梨学院高校で指導者として活躍した猿山監督が指揮をとり、就任1年目で創部初となる関東大会への出場を果たしました。2年目の2024シーズンでは関東大学サッカーリーグNorteでの1部昇格を決めるなど、強化の成果は着実に表れ、次の目標である関東リーグ昇格へ向けてさらなる革新と強化を進めています。

**強くなるため、勝つための努力を惜しまない。
朝7時から全力ダッシュで文武両道の毎日を。**

高校は無名校でしたが、大学入学のタイミングで猿山監督が就任し、創部初の関東大会出場、自分自身も1年生でスタメン入りという最高のスタートを切ることができました。チームとしての力が上がるにつれて強豪校からの入学者も増え、切磋琢磨できる環境が成長を後押ししてくれていると感じています。また、水戸ホーリーホックとの関係が深く、監督やコーチの指導をはじめ、トップチームの練習に参加できる環境も常磐大学ならではの強みです。今年度は、昨年の県知事杯で感じたチームのまとまり不足を課題と捉え、朝練の開始時間を早めることで意識改革に取り組んでいます。毎週対外試合を組んで試合経験を積ませてくれる監督の想いに応えるためにも、チームの実力と魅力を高めていきたいです。



キャプテン
ひらまたい き
平間 大暉(4年)



サッカー部 DATA

部員数: 36人
活動日: 火~金曜 7:00~8:45
土・日曜 公式戦・練習試合

2025年度 活動報告
○関東大学サッカーリーグ
Norte1部 9位

2026年度 活動報告
○関東大会出場

学生サッカーの世界では高校が注目されがちですが、学生として過ごす最後の期間である大学4年間の成長に関わることに個人的に強い思い入れを持っています。サッカーだけでなく学業にも全力で取り組めるよう、平日の練習は朝のみとし、1コマ目の講義から出席する規則正しい生活リズムで充実した学生生活を送ってほしいと考えています。就任してまず取り組んだのは、勝ちへの意欲を高めることです。当時は「ただ楽しくやりたい」という雰囲気を感じたので、強くなれば勝てる、勝てばもっと楽しくなるということをしっかり意識づけ、1点、1勝を本気で取りにいくチーム作りを目指しています。サッカー部が学内のスポーツ熱を盛り上げ、全国から学生が集まる看板的存在となるよう力を尽くします。

**かけがえのない
4年間で
輝かせるために。**



監督 さるやま まこと
猿山 誠

和気あいあいとした楽しい雰囲気の中にも 礼儀と感謝の心を大切に。

毎年入部希望者が多く人気の高い部活動である一方、中学時代からの経験者は少なく、初心者が多いことが特徴のひとつ。「気軽に楽しめるスポーツ」というイメージもありますが、競技バドミントンは、想像以上にハードで難しいスポーツです。目標は、男女ともに団体戦での県ベスト16！礼儀と感謝を忘れず真摯に取り組む姿勢を大切に、勝つための練習に励み、その中に楽しさと充実感を見出すことを目指しています。



常磐大学高等学校

バドミントン部



挨拶や清掃、日常の行動も正しさを心がけ 個々の力と団体の力を磨いて成長を目指す。

春のインターハイ予選、夏の県大会、秋の新人戦や秋季大会、冬季大会など、年間を通じて次の大会へ向けて練習に取り組んでいます。6月の大会で3年生が引退したので現在の部員は1年生と2年生ですが、練習のときも試合のときも学年の壁を越えて声をかけ合う雰囲気の良さがバド部の持ち味だと感じています。部長として心がけていることは、気張らず楽しめる雰囲気を作りつつも、気持ちがゆるくならないようメリハリのある練習をすることです。努力をしなければ勝てない。それを忘れずに、しっかりと練習を積んでいます。もちろん、努力が報われず悔しい思いをすることもあります。練習で磨いたアグレッシブな姿勢や柔軟な発想力が試合で発揮できたときはとても嬉しいです。



部長
ねもと たける
根本 壮琉(2年)

応援したくなる、 そんな人への 成長を願う。



顧問 いとう なおと
伊藤 公人

水戸地区はバドミントン部のある中学校が少ないこともあり、初心者から始める生徒がほとんどです。同じスタートラインで始められる気持ちはありますが、競技バドミントンの世界は正直かなりハードなのでそのことに驚く生徒も少なくありません。部員数が多いので効率よく練習できる環境を整え、生徒自身が課題を見つけてコツコツと地道な練習を重ねながらレベルアップしていくことを願っています。また、県南や県西地区は強豪校が多く1対1のシングルスでは経験や体力の差が出やすいため、2人でその差を補い合えるダブルスに力を入れています。打ち合いの中で相手の思考を読んで動く面白さを味わうためにも、ラリーを続けるという基礎からしっかり身につけることを徹底しています。

バドミントン部 DATA

部員数：50人(1年33人、2年17人)
活動日：週5日(水・金曜はオフ)

2025年度 活動報告

- 全国高等学校バドミントン大会水戸地区予選会
ベスト16(男子ダブルス、女子ダブルス、女子シングルス)
- 高等学校バドミントン新人大会水戸地区予選会
ベスト16(男子ダブルス、女子ダブルス、
男子シングルス、女子シングルス)
- 県大会出場(学校対抗/男子・女子)

2026年度 活動報告

- 全国高校バドミントン大会水戸地区予選
ベスト16(男子ダブルス3組、女子ダブルス1組)
- 第3位(男子団体)
- 県大会出場(男子団体、男子ダブルス、女子ダブルス)

Tokiwa Information



常磐の魅力がYouTubeでご覧いただけます。
トボス メイキング動画「TOPOS MOVIE」を配信中!



特集企画
グローバル教育プログラム
登録日本語教員養成課程
(大学)



CLUB MAKING
(大学・高校)



学校法人常磐大学 CM動画



6月の駅構内動画広告
(水戸・石岡・土浦・勝田)

YouTubeショート動画で
ご覧いただけます。



寄付者ご芳名 (敬称略・五十音順) ご厚情に深く感謝し、以下のとおりご報告いたします。[2026年1月～6月受付分]

諸澤幸雄奨学金制度への募金

学校法人内の各学校に在籍する学生・生徒で、
経済的理由により学業の継続が困難な者に対し
て奨学金を給付し公平な修学機会を与え、もっ
て有為な人材の育成に資することを目的とした
給付型奨学金制度です。

個 人	
80,000円	齊藤 泰嘉*
芳名のみ公表	
	江原 麻子*
	小宅 祐輔*
	関 いづみ*
	根本 知計*
	渡辺 風沙*

常磐大学高等学校 創立100周年募金

常磐大学高等学校の教育活動ならびに学習支援
をさらに拡充させ、生徒の伸びやかな成長を図
るための環境整備事業推進募金です。

団 体	
芳名のみ公表	かりん水戸支部
個 人	
300,000円	柏 正則
60,000円	大槻 行徳*
芳名のみ公表	
	井上 圭子
	岩間 健一郎*
	内田 和毅*
	江原 昌義*
	川崎 秀典*
	根本 知計
	横山 正和*

福祉職を志す学生への支援

法 人	
2,000,000円	一般財団法人 安寿苑 (2026年度事業分)

水戸市「水戸黄門ふるさと寄附学校 応援金」制度を通じた大学支援

個 人	
芳名のみ公表	田部田 英智

●受付期間中に複数回お申し込みくださいました方は、芳名に*を付しています。

税制上の優遇措置

寄付募集について、文部科学省から特定公益増進法人の証明書交付を受けて
おります。本学にご寄付いただきました場合は、税制上の優遇措置を受けるこ
とができます。

寄付募集の詳細については、ホームページでご覧いただけます。
<https://www.tokiwa.ac.jp/fund/>

寄付金のお申し込みおよびお問い合わせ

学校法人常磐大学 会計経理課 寄付係

[お電話で] 029-232-2551 [メールで] kifu@tokiwa.ac.jp

TOPOS vol.102 September 2026

学校法人常磐大学 広報誌【トボス】 2026年9月発行

学校法人常磐大学 総務課広報係

〒310-8585 茨城県水戸市見和1丁目430-1 TEL.029-232-2511(代表)

皆様からの
ご意見大募集!

①印象に残った記事とその理由など ②今後、広報誌で取り上げてほしいテーマなど

皆様からのご意見・感想をメールまたははがきでお寄せください。

※名前、住所、本学との関係(在籍者の場合、所属する学校名)も併せてご記載ください。

[メール送信先] kikaku@tokiwa.ac.jp

[はがき郵送先] 〒310-8585 茨城県水戸市見和1丁目430-1 学校法人常磐大学 総務課広報係

お寄せいただいた方の中
から、抽選で20名様に
常磐大学オリジナルグッズ
を差し上げます。



TOKIWA

<https://www.tokiwa.ac.jp/>

常磐大学大学院
常磐大学
常磐短期大学



常磐大学高等学校
智学館中等教育学校
常磐大学こども園



常磐大学は、令和5年度
(一財)大学・短期大学
基準協会による大学認
証評価の結果、適格と
認定されました。



常磐短期大学は令和2年
度(一財)大学・短期大
学基準協会による認証
評価の結果、適格と認
定されました。